



平成27年12月3日

各 位

上場会社名 西部瓦斯株式会社
 代表者 代表取締役社長 酒見 俊夫
 (コード番号 9536)
 問合せ先責任者 経理部主計グループマネジャー 山崎 正良
 (TEL 092-633-2245)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、特別損失を計上する見通しとなったこと、及び最近の業績動向等を踏まえ、平成27年10月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	201,300	10,700	10,500	6,200	16.70
今回修正予想(B)	194,500	12,500	13,000	1,500	4.04
増減額(B-A)	△6,800	1,800	2,500	△4,700	
増減率(%)	△3.4	16.8	23.8	△75.8	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	208,673	8,859	7,759	3,780	10.19

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	149,000	7,500	8,000	5,800	15.63
今回修正予想(B)	141,500	9,000	9,500	△500	△1.35
増減額(B-A)	△7,500	1,500	1,500	△6,300	
増減率(%)	△5.0	20.0	18.8	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	154,412	4,794	4,950	3,108	8.38

修正の理由

個別業績予想につきましては、売上高は原料費調整制度に基づくガス料金単価の下方調整の影響に加え、ガス販売量が想定を下回る見込みであること等から前回予想を下回る見通しです。

営業利益・経常利益は、原油価格の下落により都市ガス原材料費が前回見通しを下回る見込みであること等から、前回予想を上回る見通しです。

【特別損失計上について】

一部の原料LNG購入契約の購入単価には、従来の小型LNG船による受入れを前提とした部分が含まれておりますが、この負担を抑えるために検討されていた船主から他社への再用船が難しくなったことから、購入単価の算定方法を見直し当該小型LNG船に係る部分を一括精算することを、本日取締役会において決議し、購入契約先と合意いたしました。この合意により、契約変更精算金約125億円を特別損失に計上いたします。

【特別利益計上の見込みについて】

保有株式の年金資産への抛出と売却の予定により、信託設定益及び売却益の約20億円を特別利益に計上することを見込んでおります。実施内容及び特別利益の計上額等が確定次第改めてお知らせいたします。

この結果、当期純利益は前回予想を下回る見通しです。

連結業績予想につきましては、主に個別業績予想の要因によるものです。

なお、今回の契約変更は、次期以降の原料LNG購入単価を低下させることとなります。配当につきましては、期首に公表いたしました年間配当6円から変更ありません。

以上